

二〇二七年

十二月十五日(金)

〈開場〉午後六時 〈開演〉午後六時三〇分

深川江戸資料館小劇場

〈木戸〉

前売二、五〇〇円 当日三、〇〇〇円

U-23割引一、〇〇〇円 (中学生23歳要身分証。予約可。)
中学生未満は入場できません。

第三十四回

桂やまと独演会

文也天祐

補訂／岡田嘉夫



落語中興の祖、三遊亭圓朝の名作「文七元結」。

博打にのめりこむ左官・長兵衛、

吉原・佐野槌のおかみ、

鼈甲問屋の若い衆・文七が

力ネを経糸、人情を緯糸に

織りなす一夜のドラマです。

この古典落語が、画家・岡田嘉夫による

斬新な演出で、切れ味鋭く生まれ変わりました。

毎年師走にお届けする岡田×やまと版「文七元結」。

今年も、江戸の年の瀬をたっぷりお楽しみください！



文七元結

第三十四回

桂やまと独演会
〈番組〉

一 落語 春風亭朝之助

一 落語 桂やまと

一 対談 神戸より 岡田嘉夫×桂やまと

お仲入り

一 落語 「文七元結」補訂／岡田嘉夫

桂やまと



「ええ毎度、お馴染みの……」

と、嘶家はよく始めていく。

ここで伸びる嘶家と止まる嘶家の差が出てくる。毎度の話が

オヤ同じ話が前と印象が違う……」

そう、これが嘶家の嘶家たるべき仕事。上に変なモノがくついて

となればオワリ。

あなた、嘶家って常にフレッシュでないといけません。だから口の隣はいつも新なんだ。これが、ちよいと齧食っていくと感じて妙にもつたいつけた口調となり、枯れた高い木の枝に止り出す。

「何をエラソウに……」

あなた、人間、枯れるって事は、何もかもが衰えるなんですよ。枯木に花は二度と咲きません。枯れてイイ味なんてものは馴染み目鼠廻目で見聞きするからであつて、若者が初回目で見たらマドロッカしくて聞いて居れない筈。これをバカにして、

「何もわからぬド素人」

と、大方の人は云う。(自分がド素人の時を忘れて……)

何云つてんですかね、

嘶家は、いくつ何十になろうと初回で客の衿首クイと掴み、

「馴染みになつてくんましま……」

と、くるのがプロの技つてもんだアーネ。

「ジジイーになろうが死ぬまで絶対枯れるな。口の上に変なモノがくつ

いた嘶家とならず常にフレッシュな嘶家で居てほしい」

日々、私が云つてんです。やまと君に、

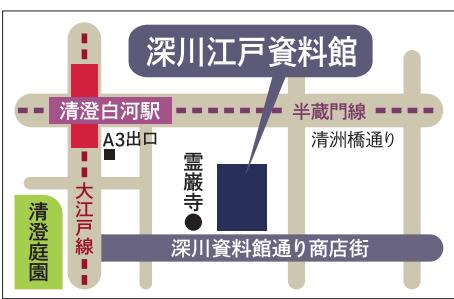
「と……。」

岡田嘉夫

二〇一七年
十一月十五日(金)
〈開場〉午後六時 〈開演〉午後六時三〇分
深川江戸資料館小劇場
〈木戸〉
前売 二、五〇〇円 当日 三、〇〇〇円
U-23割引 一、〇〇〇円 (中学生未満は入場できません。)

補訂／岡田嘉夫

左官の長兵衛



東京都江東区白河1-3-28 電話 03-3630-8625

《交通のご案内》

都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線
「清澄白河駅」A3出口より徒歩3分

ご予約・お問い合わせ

桂やまと落語事務所

電話/Fax 03-6755-8815
Eメール info@yamato3rd.com

公式サイト

「落語家 三代目 桂やまと」
<http://yamato3rd.com/>

桂やまと公演案内メルマガ

「やまと通信」会員募集中★

月一回ペースの会員限定情報。お申込は公式サイトにて!